

第九次総合計画の計画内容等について

1. 計画内容

第九次総合計画の基本理念、都市像等で示した計画体系の構成、考え方にに基づき、計画内容を以下のとおりとする。

(1) 重点戦略 **別紙 1**

本市が今後特に重点的にすすめる分野横断的な取り組みの方向性を示すもの

(2) 分野別計画 **別紙 2**

政策分野ごとに、目指す姿や課題、重点的にすすめる施策を示すもの

(3) 地域間連携（エリア）のまちづくり **別紙 3**

地域間で連携してすすめるまちづくりの方向性を示すもの

(4) 着実な計画の推進 **別紙 4**

様々な施策を効率的かつ効果的にすすめるための施策を示すもの

(参考) 第九次総合計画体系 **参考 1**

2. 幸福実感指標の設定 **別紙 5**

重点戦略、分野別計画、地域間連携（エリア）のまちづくり、着実な計画の推進に、幸福実感指標（市民幸福度、市民満足度）を設定する。

3. 総合計画と総合戦略の統合

現行計画と同様に、第九次総合計画に高山市まち・ひと・しごと創生総合戦略を統合し、庁内における効果的かつ効率的な計画の推進を図る。

4. 人口の将来展望と計画人口 **別紙 6**

目標とする人口を示す。

5. 今後の予定

令和6年9月12日	議会特別委員会
9月	市民意見の把握（総合計画審議会） 市民意見の把握（市民説明会）
10月	市民アンケートの実施
11月	議会特別委員会への協議（計画素案） 市民意見の把握（パブリックコメント）
12月	総合計画審議会（諮問等）
令和7年3月	議会への議案提出（基本計画）

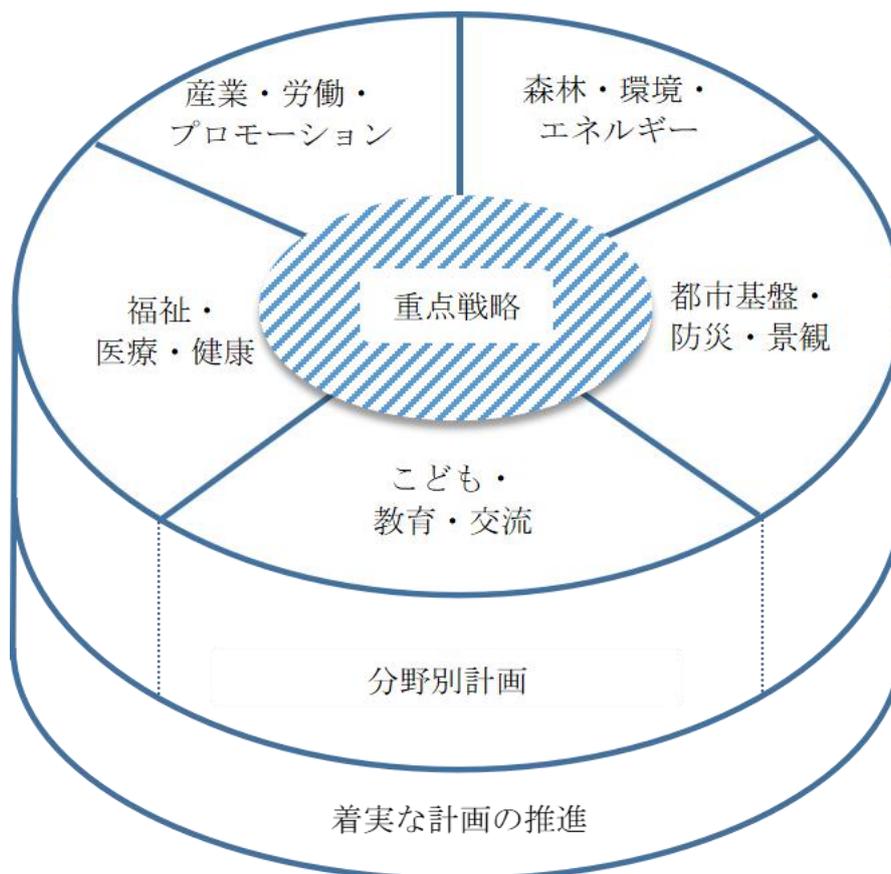
重点戦略

1. 重点戦略の考え方

基本理念に沿った市政運営、都市像の実現に向けた歩みを着実なものとするため、長期的な視点で将来を見据え、持続可能なまちの実現に向け、分野横断的かつ重点的な取り組みを「重点戦略」に位置付ける。

重点戦略は、人口減少が今後も進展し、社会活動や経済活動の縮小が見込まれる状況においても、こどもが健やかに育ち、若者が生き生きと活躍でき、市民が生きがいを持って働き、充実した暮らしを営むなど、今を生きる、将来を担う市民が、このまちに住むことに「しあわせ」を実感するため、分野別計画とは別に分野横断的な戦略として方向性を示すものとする。

2. 重点戦略と分野別計画・着実な計画の推進の関連に係る概念図



3. 重点戦略の方向性

○重点戦略

先人から受け継いだ有形無形の財産を守り、育て、
そして未来につなぐための「人」づくり

都市像の実現のため基本理念に基づき、こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり、地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資とともに、これらを支える環境整備を行う。

○戦略の体系

重点戦略の方向性	重視すべきポイント	ポイントごとの取り組み
こどもが健やかに育つための支援、若者が活躍できる環境づくり	健やかに育つ環境づくり	1 こどもが健やかに育つため、様々な関係者と連携し、切れ目のない支援に取り組みます。
		2 こどもが安全で安心して過ごすことができる居場所づくりに取り組みます。
	夢や希望が持てる環境づくり	3 こどもや若者が飛騨高山への愛着を深めるための意識醸成に取り組みます。
		4 事業者や地域と連携し、若者の地元定着に取り組みます。
地域活動や産業、福祉など様々な分野における人への投資	日々の暮らしと地域活動を支える人づくり	5 市民の日常生活を支える人づくりに取り組みます。
		6 地域活動を支える人づくりに取り組みます。
	地域の元気を支える、未来の担い手づくり	7 事業の承継や後継者の育成など未来を担う人づくりに取り組みます。
		8 多様な人材の活用や多様な働き方への対応など人への投資に取り組みます。
人づくりを支える環境整備	自分らしく、充実して暮らせる環境づくり	9 地域社会での自立した暮らしに向けた相談体制や家族への支援の充実に取り組みます。
		10 多様な市民が生きがいや喜びを感じ、交流できる機会の提供に取り組みます。
	快適で安全な環境づくり	11 住み慣れた地域で安心して暮らせる環境の整備に取り組みます。
		12 公共交通や道路など快適環境を整備し、市民の利便性向上に取り組みます。

政策				施策							
No.	政策分野	目指す姿	課題	施策分野	課題	施策の方向性	重No.	施策			
1	福祉・医療 ・健康	障がいや病気の有無、年齢などに関わらず、生き生きとした暮らしの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・市民一人ひとりのニーズが多様化、複雑化するなかで、行政、事業者、地域、その他関係者が一体となった支援が求められています。 ・障がい者や高齢者などが住み慣れた地域で自立した生活を維持できる環境整備が求められています。 ・どこに住んでも平等にサービスを受け、心身ともに豊かな生活を送ることができる環境整備が求められています。 	1 地域福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・多様化、複雑化する課題やニーズに対応する支援や対策が求められています。 ・自立した生活に向けての支援や安全安心で快適な環境の整備などの取り組みが求められています。 	1 地域全体が助け合う社会の実現	10	総合福祉センター機能の整理により、市民の活動の場の確保を図ります。			
									福祉ボランティアや市民活動団体の育成強化、ボランティア活動への参加促進などにより、地域全体が助け合う社会の実現を図ります。		
								2 自立した生活を実現するための不安の解消		9	孤独・孤立や生活困窮などへの支援体制の強化により、暮らしの中で直面する様々な課題に対し、寄り添いながら包括的で効果的な支援をすすめます。
										9	多くの機関が連携しながら相談や支援につなげる重層的支援体制の整備により、複雑化した生活課題への対応や市民生活の不安解消を図ります。
				2 障がい者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・障がい者の地域での自立した生活を維持できる環境整備が求められています。 ・早期発見や適切な対応へとつなげるための地域社会が一体となった支援が求められています。 	1 自立した地域生活の維持継続	9	地域生活支援拠点の機能の充実・強化により、障がい者の日常生活の自立や社会参加の促進をすすめます。			
								2 地域社会が一体となった支援体制の確立	5	福祉に携わる人材の育成・確保により、障がい福祉サービスの充実を図ります。	
									9	障がい児者基幹相談支援センターの体制強化により、障がい児者やその家族が直面する様々な課題に対する専門的な支援や情報提供を行います。	
									9	福祉事業者や地域との連携の強化などにより、障がい者の親亡き後や障がい者及び介護者が高齢になっても、いつまでも地域で安心して暮らせる体制づくりをすすめます。	
				3 高齢者福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・介護が必要となる状態を予防し、社会で活躍できる状態を長く続けられる取り組みが求められています。 ・介護が必要となった場合でも、住み慣れた地域での生活が維持できる仕組みが求められています。 	1 高齢者の社会参加の促進	9	介護予防の推進により、高齢になっても心身ともに健康で、活躍できる環境整備を図ります。			
								2 住み慣れた地域で生活を維持するための仕組みの構築	9	判断能力が不十分な方や身寄りのない高齢者などの生活課題への支援体制の充実により、誰もが安心して年齢を重ねられる地域づくりをすすめます。	
									9	認知症フレンドリー社会の実現に向けた取り組みの推進により、認知症の方やその家族の負担軽減を図ります。	
									9	在宅生活を継続するための支援などにより、高齢者が安心して暮らせる地域づくりをすすめます。	
									11	地域のニーズに応じた買い物支援などにより、住み慣れた地域での生活の維持を図ります。	
							<ul style="list-style-type: none"> ・施設における人材の確保や希望する介護サービスが受けられるなどの安定した介護サービスを提供する必要があります。 	3 安定した介護サービスの提供	5	介護人材の育成・確保により、市内全域への安定的な介護サービスの提供を図ります。	
						8	DXの推進により、介護認定事務の効率化を図ります。				
4 児童福祉	<ul style="list-style-type: none"> ・核家族化や地域のつながりの希薄化による子育ての孤独化への支援が求められています。 ・こどもの多様で複雑化する困りごとに対して、成長段階に応じた切れ目のない支援が求められています。 	1 誰一人取り残さない切れ目のない支援体制の充実	1	こども家庭相談システムの導入などにより、こどものライフステージに応じた切れ目のない支援の充実を図ります。							
						1	学校や地域、関係団体等のサポートネットワークの整備などにより、こどもや家庭が安心して暮らせる地域づくりをすすめます。				

政策				施策				
No.	政策分野	目指す姿	課題	施策分野	課題	施策の方向性	重No.	施策
				5 医療・保険	<p>・どこに住んでいても、医療を受けられることができ、将来にわたり持続可能な医療体制の整備が求められています。</p> <p>・安定した、平等な医療保険制度を維持する必要があります。</p>	<p>1 地域医療体制の充実</p> <p>2 安定的で持続可能な医療保険制度の運営</p>	<p>5 高度医療機関及び中核病院との連携などにより、地域医療体制を安定的に維持します。</p> <p>5 医療機関などと連携した医療を目指す学生への支援などにより、医療人材の育成確保を図ります。</p> <p>11 国保診療所や移動診療車の運営などにより、地域医療体制の充実を図ります。</p> <p>9 介護予防と一体的な保健事業の推進により、高齢でも心身ともに健康で、活躍できる環境整備をすすめます。</p> <p>特定健康診査・保健指導の受診率向上などにより、被保険者の健康保持・増進を促進するとともに、医療費適正化や収納率の維持向上による安定的な財政運営を行います。</p>	
				6 健康・保健	<p>・健康寿命の延伸に向けた取り組みや予防に向けた対策に取り組む必要があります。</p> <p>・心と体の両方がともに健康でいられる社会を目指すことが求められています。</p> <p>・健康に関心の薄い人など幅広い世代に対して、本人が無理なく健康な行動をとることができる環境の整備が求められています。</p>	<p>1 生活習慣病の発症、重症化予防</p> <p>2 こころの健康増進支援</p> <p>3 健康を支える環境の整備</p>	<p>生活習慣病の発症予防・重症化予防により、健康寿命の延伸を図ります。</p> <p>ライフステージに応じた健康づくりを啓発することにより、生活習慣の改善を図ります。</p> <p>9 相談体制の充実により、こころの健康の保持、増進を図ります。</p> <p>11 一人ひとりのこころの不調に対する気づきを促す支援により、地域で支える体制の強化を図ります。</p> <p>11 インセンティブ制度等の活用により、健康に関心が薄い人をはじめ、市民が健康づくりに取り組むことができる社会環境づくりをすすめます。</p> <p>ワクチン接種への支援により、市民の感染症や病気への予防を図ります。</p> <p>DXを活用した健康情報の見える化などにより、健康に対する意識の向上を図ります。</p> <p>1 若年層からの健診や、多様な主体（医師・学校・企業・医療保険者等）との連携により、市民の健康増進を図ります。</p>	

政策				施策					
No.	政策分野	目指す姿	課題	施策分野	課題	施策の方向性	重 No.	施策	
2	こども・教育・交流	飛騨高山で生まれ、育ち、学び、生活することに、喜びが持てる暮らしの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもや若者がこのまちに生まれ、育つことに誇りを持てる環境づくりや健やかに育つための支援が求められています。 ・世代に応じて、必要な学びの場が提供され、誰もが必要なときに必要な学びができる環境整備が求められています。 ・歴史文化や芸術、スポーツなど暮らしを豊かにするための環境整備や、様々な方々との交流の場の提供が求められています。 	1 こども・子育て	<ul style="list-style-type: none"> ・こどもが健やかに育つため、こどもや家庭に対する支援が求められています。 	1 こどもが心身ともに健やかに育つ環境の整備		2	屋内外の「こどもの遊び場」の魅力向上のための施設整備と活用促進により、楽しく、健やかにこどもが育つための環境の創出、地域への誇りと愛着の醸成を図ります。
								2	放課後児童クラブに専用アプリを導入し、効果的に運用することにより、保護者などの負担軽減やサービス向上、こどもの健全育成のための環境整備をすすめます。
								2	こどもが安心して自分らしく過ごすことのできる「居場所」を持てるよう、官民連携による環境整備と利用促進により、誰一人取り残さない地域づくりをすすめます。
								1	胎児期から成人期までの切れ目のない健診や支援により、生活習慣病や社会生活への不適応を予防し、心身の健康増進を図ります。
									保護者や支援者への発達段階に応じた適切な対応や方法を学ぶ場の提供により、こどもの健全な成長や発達支援をすすめます。
								1	子育てにかかる経済負担の軽減のための各種の給付や助成の充実などにより、出産や子育ての希望をかなえ、こどもや家庭が温かに見守られ、支えられる地域づくりをすすめます。
								1	保育や幼児教育、その他多様な託児サービスの提供とともに、必要な人材の確保・育成により、保護者が就労と子育てを両立し、こどもが豊かに育まれる環境整備を図ります。
								1	子育てに必要な物品の現物給付、親子の愛着形成の促進などきめ細やかな子育て支援の充実により、安心してこどもを生み育てやすい地域づくりをすすめます。
								3	こどもがまちづくりに参画する仕組みを整えることにより、こどもの意見が反映される社会づくり、将来の社会の担い手の育成をすすめます。
									誰もが必要な情報を容易に得られ、相談や仲間づくりができるよう、きめ細やかに情報発信や交流をすすめることにより、まちづくりへの理解や関心の醸成、参加の促進を図ります。
	結婚のきっかけとなる出会いの機会創出、新生活への支援などにより、結婚を後押しできる社会づくりをすすめます。								
2	学校教育		<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒への多様な学びに対するニーズへの対応が求められています。 	2	1 多様な学びを約束する学習環境の整備		2	不登校児童生徒に対する多様な支援の展開などにより、幅広い学びの環境を提供します。	
							2	小中一貫教育の推進により、学習環境づくりに取り組みます。	
							2	学校の適正規模を考慮した整備により、学校施設の学習環境の保全と安全性や利便性の向上を図ります。	
							4	ICT機器を活用した高度な学習環境の提供などにより、学校における教育のICT化を図ります。	
							3	社会科副読本の更新や地元人材の活用などにより、身近でわかりやすく特色のある郷土学習をすすめます。	
								外国語指導助手(ALT)による外国語指導やプログラミング学習などの取り組みにより、デジタル化やグローバル化を生き抜く力を身に付ける学びを提供します。	
	<ul style="list-style-type: none"> ・地域に対する愛着の醸成や未来に希望が持てる教育の提供が求められています。 	2	地域への愛着と郷土への誇り、未来への希望の醸成に向けた学びの提供						

政策				施策				
No.	政策分野	目指す姿	課題	施策分野	課題	施策の方向性	重 No.	施策
				3 歴史文化	<ul style="list-style-type: none"> ・各地域における歴史遺産や継承されてきた伝統文化の維持・継承が求められています。 ・歴史遺産や伝統文化の新たな活用などによる市民の地域への愛着の醸成や重要性の理解を深める必要があります。 	1 地域における歴史遺産・伝統文化の保存継承 2 文化財等の新たな活用による郷土愛の醸成	6	歴史的建造物の耐震化・防火対策の計画的な実施などにより、防災能力の向上を図ります。 地域で継承されている祭礼行事や伝統行事の維持に向けた検討をすすめます。 地域の歴史遺産の指定や登録を推進することにより、保存と活用を図ります。 市民や大学などとの連携による資料整理などにより、気軽に歴史・伝統に触れられる機会を創出し、郷土愛や地域への誇りの醸成を図ります。 新たな伝統的建造物群保存地区の選定などにより、歴史的町並みの保存と活用を図ります。 高山城跡や松倉城跡、広瀬城跡などの活用により、飛騨の中世城館跡の魅力や価値を活かしたまちづくりをすすめます。
				4 生涯学習・文化芸術	<ul style="list-style-type: none"> ・世代を問わず、市民が関心のあることや社会の変化に対応するための学びの機会が求められています。 ・文化芸術に気軽に触れたり活動したりできる環境が求められています。 ・若者がやりがいや生きがいをもって活動できる機会を創出する必要があります。 	1 市民の多様な生涯学習活動、文化芸術活動の場の提供 2 市民の主体的な文化芸術活動や学習活動の促進 3 若者の活躍の機会の創出	10	高山駅西地区複合・多機能施設の整備などにより、あらゆる世代の交流、生涯学習活動、文化芸術活動の場を提供します。
							10	市民主体の文化芸術活動に対する支援や学習情報の提供などにより、喜びや生きがいを感じられる機会の充実を図ります。
							4	地域や事業者と連携した取り組みなどにより、若者の主体的な活動を支援します。
				5 スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・楽しみながら気軽にスポーツを体感できる機会を提供する必要があります。 ・多様な市民ニーズに対応したスポーツ環境が求められています。 	1 気軽にスポーツに触れられる機会の提供 2 市民の多様なニーズにあわせたスポーツ環境の提供	10	気軽に体を動かす機会の創出などにより、スポーツが身近になる環境を提供します。
							10	野球場の整備や中山公園陸上競技場の三種公認の継続に向けた整備をはじめ、既存施設の適正な維持修繕により、市民がスポーツに触れる環境の充実を図ります。
				6 交流	<ul style="list-style-type: none"> ・姉妹友好都市等とのつながり(歴史)を再確認するとともに、次世代に継承する必要があります。 ・様々な分野における交流により、地域の活性化や心の豊かさの創出を図る必要があります。 	1 国内外の姉妹友好都市等との交流	10	国内外の姉妹友好都市などとの継続的な交流により、産業経済をはじめとした地域の活性化や人々の心の豊かさの創出を図るとともに、広い視野を持った次世代の人材育成を図ります。

政策				施策						
No.	政策分野	目指す姿	課題	施策分野	課題	施策の方向性	重No.	施策		
3	都市基盤 ・防災・景観	生活の基盤である、住居、インフラ、災害への備えなどが整った、安全で安心した暮らしの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・急激な社会情勢の変化や地域社会の変容に対応し、長期的な視点で社会基盤を整備する必要があります。 ・緊急時でも支え合いの体制が確立し、安全安心な暮らしが維持できる仕組みの構築が求められています。 ・日々の暮らしのなかで、憩いや交流できる場の提供が求められています。 	1 土地利用 ・都市計画	<ul style="list-style-type: none"> ・単に規制だけでなく、柔軟な対応が求められています。 ・長期的な視点は堅持しつつ、社会的な変化などに対応した都市計画が求められています。 	1 地域特性や長期的視点を踏まえた土地利用	12	長期的視点と社会的な変化などに対応する都市計画に見直すことにより適正な土地利用を図ります。		
				11			緑地保全に対する制度の拡充などにより、山林の保全や里山景観の維持を図ります。			
				12			中心市街地の活性化などにより、市街地中心部の魅力創出を図ります。			
				10			高山駅西地区複合・多機能施設の整備により、高山駅西地区の活性化と高山駅東側と西側との運動による賑わいの創出を図ります。			
							新火葬場の整備により、誰もが利用しやすく、厳かで温もりのある旅立ちの空間の実現を図ります。			
				12			都市計画道路西之一色花岡線、市道若達花岡線、市道下三之町線における無電柱化の推進により、安全に通行できる環境の確保や景観の保全を図ります。			
							市街地外縁部駐車場の利用の促進などにより、市内に流入する車両の抑制や歩行空間の確保を図ります。			
						2 公共交通	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の実情に沿った公共交通体制を確保する必要があります。 ・既存の方法にとらわれない新たな手法の取り組みが求められています。 	1 地域の実情やニーズに応じた公共交通体制の確立	12	のらマイカーやまちなみバス、匠バスなどの運行ルートやダイヤの見直しにより、利用しやすい地域公共交通の確保を図ります。
				12		自家用有償旅客運送、ライドシェア、タクシーデマンド運行など地域の特性に応じた移動方法を検討します。				
				5		バスやタクシーなどの市民の移動を支える運転手の確保への支援により、公共交通の維持・向上を図ります。				
				12		公共施設整備における待合スペース等の整備などにより、公共交通の利用環境の向上を図ります。				
				12		公共交通利用に対する各種補助制度の拡充や見直しを行います。				
						・公共交通の利用環境の向上を図る必要があります。			2 公共交通の利便性の向上	
						3 住宅・公園 ・景観	<ul style="list-style-type: none"> ・安心して生活ができる住宅環境が求められています。 	1 良質で住み続けられる住宅環境の整備	11	耐震診断から耐震補強への効果的な誘導により、安全で安心して暮らすことができる住宅環境の整備を図ります。
						市営住宅の適正な配置により、住宅に困窮する市民へ安定的な住環境の提供を行います。				
10	既存の公園の再整備等により、こどもの遊び場や憩いの場の充実を図ります。									
10	スポット整備により、身近なところで休憩できる憩いの場の提供を図ります。									
	・人々を魅了する景観の保全と規制について、バランスの取れた制度の構築が求められています。	3 地域の特性に応じた景観の保全・創出								
	・増加する空き家への対策が求められています。	4 空き家対策・活用		危険な空き家の除去や活用可能な空き家の利用促進により、市民の安全な生活環境の保全を図ります。						
	・地域の伝統的な技法の継承に取り組む必要があります。	5 飛騨の匠を継承する人材の確保	7	伝統建築産業などの後継者育成や伝統構法への支援により、飛騨の匠を継承する人材を確保します。						

政策				施策				
No.	政策分野	目指す姿	課題	施策分野	課題	施策の方向性	重 No.	施策
				4 道路・河川	<p>・中部縦貫自動車道の延伸や、東海北陸自動車道の4車線化、松之木千島線(松之木～江名子)など、道路交通網の大きな変化へ対応する必要があります。</p> <p>・災害や老朽化・長寿命化対策、将来にわたる維持管理など、道路や河川環境の維持が求められています。</p>	1 早期の幹線道路ネットワークの構築	12	都市計画道路松之木千島線、西之一色花岡線、市道旅行村線などの整備により、道路交通の利便性の向上を図ります。
							12	中部縦貫自動車道や国道41号石浦バイパスなど広域交通網の整備促進とともに、IC周辺をはじめ沿線の地域活性化を図ります。
						2 官民連携による快適な道路・河川環境の維持	11	道路台帳や除雪業務のDX化の推進により、市民の利便性の向上と効率的な除雪を図ります。
							12	都市計画道路などの交差点改良や幹線市道の計画的な長寿命化改修により、快適な道路環境の維持・向上を図ります。
				5 上水道 ・下水道	<p>・独立採算が求められる企業会計として、経営基盤を強化する必要があります。</p> <p>・将来を見据えたコスト縮減のための整備や災害に強いインフラ環境の提供が求められています。</p>	1 持続可能で効率的な経営	11	水門の遠隔監視や自動制御化により、住宅地への流入抑制を早期に行う仕組みを構築します。
							11	上下水道の適正な料金設定により、安定的な経営環境への改善を図ります。
						2 将来を見据えた効率的な施設・設備の維持	11	配水区域の再編、下水道処理区の再編・下水道管情報のDX化により、将来への負担の軽減を図ります。
							11	水源地域の保全と徹底した水質管理により、安全で安心して飲める水道水を提供します。
				6 防災 ・危機管理	<p>・災害に備え、市民の防災意識の向上を図るとともに、各地区における防災計画の策定や防災リーダーの育成を促進する必要があります。</p> <p>・発災時の被害を最小限に抑えるための取り組みが求められています。</p> <p>・発災時の安全・安心が確保できる体制の充実が求められています。</p>	1 市民の防災意識向上と地域防災力の強化	11	汚水の適正な処理により、快適な生活環境と流域の良好な水質を確保します。
							6	施設や設備の強靱化により、災害時においても安心して利用できる上下水道サービスを提供します。
						2 災害情報共有の推進と避難所機能の充実	11	地域住民による地区防災計画の策定を促進するとともに、実践的な防災訓練を実施することにより、地域における防災体制の確立をすすめます。
							6	災害時に必要な知識やスキルを身につけるための防災リーダーの育成や防災教育の推進などにより、災害対応に向けた人材の育成をすすめます。
						3 関係機関等との連携強化(広域防災体制の構築)	11	老朽化した防災行政無線機器の更新をはじめ、多様な情報伝達手段を確保し、市民への迅速で確実、かつ安定的・効果的な情報共有を図ります。
							6	要支援者をはじめ、誰もが安全に避難できる体制づくりをすすめます。
7 消防・救急	<p>・消防団をはじめとした地域の消防力を高める取り組みが求められています。</p> <p>・緊急時に迅速に対応できる環境を整備する必要があります。</p>	1 持続可能な消防団体制等地域消防力の強化	11	避難所運営マニュアルの見直しや災害備蓄品の確保、分散備蓄の推進などにより、避難所機能の充実を図ります。				
			6	大規模災害時に円滑な応援や受援が可能となるよう、国・県、姉妹友好都市、災害応援協定締結団体などとの連携強化を図ります。				
		2 限られた資源で最大限に効果を発揮する消防・救急体制の確立	11	消防団関連イベントや広報活動等により、市民の消防団への理解度や消防団員のやりがいの向上を図ります。				
			6	様々な人材を確保することにより、消防団活動の活性化を図ります。				

政策				施策						
No.	政策分野	目指す姿	課題	施策分野	課題	施策の方向性	重No.	施策		
4	森林・環境 ・エネルギー	飛騨高山の豊富な森林や自然資源を守り、育て、活用した、快適で潤いに満ちた暮らしの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・市域のほとんどを占める森林や自然資源の有効活用とともに、自然環境の保全及び自然との共生が求められています。 ・地球環境の保全に向けた循環型社会を構築する必要があります。 ・地球温暖化による様々な影響を軽減するため、脱炭素社会の実現に向けた取り組みを推進する必要があります。 	1 森林政策	<ul style="list-style-type: none"> ・年代を問わず、森や木に触れられる環境、森や木を活用した教育など、機会の創出が求められています。 ・森林整備によるカーボンオフセットなど、地球温暖化対策に資する森林づくりをすすめるため、都市部自治体との連携拡大が求められています。 ・地球温暖化防止、国土保全及び水源の涵養などの森林の多様な機能の増進を図るため、森林環境譲与税の有効活用が求められています。 	1 あらゆる世代が木に親しむ機会の創出	3	幼少期から大人まで世代に応じた木育・森林環境教育により、森林に対して責任ある行動をとることができる人づくりをすすめます。		
						2 都市部連携による森林づくりの推進		都市部自治体との連携拡大により、森林整備によるカーボンオフセットや木材利用、普及啓発など、地球温暖化対策に資する森林づくりをすすめます。		
						3 森林の多様な機能の増進を図るための森林環境譲与税の有効活用		森林環境譲与税の活用により、水源林の保全や災害に強い森林づくりなどの森林の有する公益的機能の増進や、公益的機能に関する普及啓発を図ります。		
						2 生活環境 ・資源循環	<ul style="list-style-type: none"> ・新ごみ処理施設の円滑な運用、埋立処分場の延命化など、現状を踏まえたごみの適正処理に対応する必要があります。 ・生活環境保全のため、ごみ排出方法の周知徹底及び循環型社会の構築が求められています。 	1 ごみ処理を取り巻く環境への対応	2	新ごみ処理施設の整備と環境性能を活かした運用により、飛騨高山にふさわしいクリーンな環境づくりを図ります。
								第一埋立処分地の跡地の公園整備などにより、ごみ処理施設周辺の環境を整えとともに、第二埋立処分地の延命化などにより、ごみ処理施設の安定稼働を図ります。		
								新ごみ処理施設の稼働を踏まえ、ごみの処分体制を家庭系・事業系それぞれの特性に合わせたものに見直すことにより、ごみの減量化やごみ排出方法の改善を図ります。		
									2 循環型社会の構築など公衆衛生環境の確保	資源化施設の整備及び3R(リデュース、リユース、リサイクル)のさらなる推進により、循環型社会の構築を図ります。
										ごみのポイ捨て、路上喫煙禁止の啓発強化、海洋プラスチックごみ対策や環境配慮行動の推進などにより、生活環境の保全を図ります。
							3 自然環境・温暖化対策	<ul style="list-style-type: none"> ・自然環境保全や豊かな自然環境の活用に向けたエネルギーの地産地消に取り組む必要があります。 ・市民や観光客の豊かな自然資源の活用が求められています。 	1 自然エネルギーを活用したエネルギーの地産地消等による脱炭素社会の実現	2
				2 豊かな自然に対する理解と自然資源の保護と利用	自然環境に対する意識を向上させ、生物多様性の保全をすすめるとともに、中部山岳国立公園をはじめとした自然公園などの自然資源の保護と、さらなる磨き上げにより、魅力の向上を図ります。					

政策				施策				
No.	政策分野	目指す姿	課題	施策分野	課題	施策の方向性	重No.	施策
5	産業・労働 ・プロモーション	飛騨高山の風土や有形無形の財産を活かした、活力と働きがいのある暮らしの実現	<ul style="list-style-type: none"> ・農林畜産業等を持続可能な産業とするため、多様な人材の確保や育成、生産基盤の整備、関係者が連携した販路拡大が求められています。 ・多様化するニーズや時代の変化に柔軟に対応しながら既存産業の稼ぐ力の強化と市内資金循環の促進による経済の好循環の実現が求められています。 ・市内で製造、提供される商品やサービスなどが市民の誇りや自信となり、国内外にも広く支持されるよう付加価値の強化が求められています。 ・事業者の有する販路や財産、技術、精神を次の世代へ引き継ぐとともに、地域産業の持続的な成長が求められています。 ・多様な人材を確保・育成し、誰もが能力を活かしながら働きがいを持って働くことができる環境の構築や所得の向上が求められています。 	1 農業・林業・畜産業	<ul style="list-style-type: none"> ・事業継承のための取り組みや、特色ある地域産品、そのための基盤となる環境整備など、生産地づくりが求められています。 	1 特色を活かした生産地づくり		新たな農業技術導入などの促進により、生産性を高め、地域特性を活かした魅力的な農業生産地づくりをすすめます。
				7	幅広い世代で農業への関心を高め、多様な担い手や働き手の確保、遊休農地の解消などにより、持続可能な農業をすすめます。			
					家畜改良事業の推進や耕畜連携により、畜産業者が安心して経営できる畜産生産地づくりをすすめます。			
					繁殖牛舎等の整備や自立経営への支援などにより、新たな担い手の確保と定着を図ります。			
				7	地籍調査や森林推定地番図の作成などにより、森林所有者の特定を図り、個人所有の森林整備の加速化をすすめます。			
					生産性の高い森林のゾーニングなど、戦略的かつ計画的な森林整備により、「伐って、使って、植えて、育てる」という森林資源の循環利用を図ります。			
				8	移住者や県立森林文化アカデミーの学生への支援により、森林技術者の待遇改善や育成をすすめます。			
				7	全国和牛能力共進会への出品などにより、関係機関と連携し飛騨牛の高品質化及び販路拡大をすすめます。			
					林業や木材産業との連携拡大により、スギやヒノキなどの針葉樹だけでなく広葉樹の販路拡大をすすめます。			
				7	家畜診療技術の高度化により、効果的で効率的な診療体制の強化と、安心して畜産業を営むための環境整備を図ります。			
				7	中小・小規模事業者の経営基盤の強化や事業承継、本社機能移転などの促進により、事業の継続と産業構造の多様化を図ります。			
					DXの推進や最新技術の活用促進、起業・創業しやすい環境づくりなどにより、市内産業のイノベーションを誘発するとともに生産性の向上を図ります。			
					地域の特色や資源の活用などにより、魅力ある商業空間や地域の拠点づくりをすすめます。			
				4	多様な雇用機会の創出と地元企業への就労促進	地域の魅力を市内外に発信するなど、地元企業との連携により、地元就職と地域への定着の促進を図ります。		

政策				施策				
No.	政策分野	目指す姿	課題	施策分野	課題	施策の方向性	重No.	施策
				4 移住定住	・移住者が集まり、住み続けられる環境を整備する必要があります。	1 移住者が定住しやすい環境の整備	9	移住する人や移住した人の思いに寄り添った暮らしへの支援により、暮らしたいと思えるまちづくりをすすめます。
					・移住者を受け入れ、住民としてともに支え合う意識を醸成する必要があります。	2 移住者への理解の促進	6	地域の魅力的な情報の発信強化により、地域の成長と発展に寄与する人材の確保を図ります。
				5 プロモーション・観光	・郷土に対する誇りと先人たちの築き上げた有形無形の財産の効果的な発信が求められています。	1 郷土に対する誇りと飛騨高山ブランドの効果的な発信	11	民間事業者と連携した移住者と地域住民との交流イベントなどにより、互いに理解し合い、協力して豊かな地域社会を築いていく環境づくりを促進します。
					・観光客や飛騨高山と関係のある人々との関係を活かし、地域の課題解決を図る必要があります。	2 観光を活かした持続可能な地域づくりの推進	3	飛騨高山の有する様々な魅力や価値の再認識と磨き上げにより、生まれ育った地域に対する誇りの醸成を図ります。
								多様な情報媒体などを活用した情報発信により、飛騨高山ブランドの認知度の向上を図ります。
								ふるさと納税の返礼品として地場産品や体験型メニューなどを提供することにより、地域内産業の活性化を促進します。
								観光を活用した地域資源の保護・活用や人材育成、郷土愛の醸成により、選ばれ続ける観光地づくりをすすめます。
								観光客の安全・安心・快適な受入れ体制の整備により、滞在環境の充実を図ります。
								観光を活用して産業・地域・人をつなぎ、相互連携や役割分担の明確化を図ることにより、住んでよし、訪れてよしの持続可能な地域づくりをすすめます。

地域間連携（エリア）のまちづくり

主なエリアと 考え方	国内有数の山岳資源や温泉資源を有するエリア	街道景観と都市部とのアクセスを有するエリア	南北の連携軸を有するエリア
	飛騨山脈の山岳資源や自然を活かしたまちづくり	自然豊かな街道景観と都市部とのアクセスを活かしたまちづくり	国道41号、JR高山本線沿線の自然と文化資源を活かしたまちづくり
			
主な地域	・丹生川地域、上宝・奥飛騨温泉郷地域 (関連周辺自治体：松本市)	・清見地域、荘川地域 (関連周辺自治体：郡上市、白川村)	・高山地域、一之宮地域、久々野地域、国府地域 (関連周辺自治体：下呂市、飛騨市)
エリアの特徴	<p>【自然資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・槍ヶ岳、乗鞍岳、穂高連峰、中部山岳国立公園など ・Kita Alps Traverse Route(北アルプストラバースルート) ・ロープウェイ、登山道、乗鞍スカイライン、五色ヶ原の森、奥飛騨ビジターセンター <p>【産業資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・奥飛騨温泉郷（5つの温泉）、宿讎の湯、恵比須の湯 ・飛騨大鍾乳洞、スキー場、ロングトレイル、キャンプ場 ・稲作や山椒、トマト、ホウレンソウ生産をはじめとした農業 ・道の駅奥飛騨温泉郷上宝 	<p>【道路資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨美濃せせらぎ街道、飛騨やまびこ街道、さくら街道、飛騨高山風景街道、「合掌・さくら」飛越街道（東海北陸自動車道、中部縦貫自動車道）、高速道路IC他 ・道の駅：パスカル清見、ななもり清見、桜の郷荘川 <p>【自然資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・白山国立公園、せせらぎ渓谷県立自然公園、白山ユネスコエコパーク、生活環境保全林（せせらぎ街道四季の郷、であいの森）、荘川桜 <p>【産業資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウッド・フォーラム飛騨、自然体験施設、キャンプ場、別荘地、そば、飛騨牛、木工・クラフト、桜香の湯、荘川の里、そばの里荘川、高冷地野菜 	<p>【文化資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・山城跡（高山城、松倉城、広瀬城ほか） ・ユネスコ無形文化遺産「高山祭の屋台行事」 ・日本遺産「飛騨匠の技・こころ一木とともに、今に引き継ぐ1300年」 ・伝統的建造物群保存地区、風土記の丘 ・堂之上遺跡、飛騨一宮水無神社、安国寺経蔵、臥龍桜、宮笠、位山道など <p>【自然資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・位山、船山、川上岳、モンデウスパーク、ひだ舟山リゾートアルコピア、宮川、常泉寺川（バイカモ）、源流の森、巨樹・巨木、巨石群、分水嶺、岐阜大学位山演習林、あららぎ湖、宇津江四十八滝など <p>【産業資源】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果樹、高冷地野菜、ワイナリー、釣り、道の駅飛騨街道なぎさ、特選館あじか、しびきの湯など
	主な 都市連携軸	<ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道 ・国道158号 ・国道471号 	<ul style="list-style-type: none"> ・東海北陸自動車道 ・中部縦貫自動車道 ・国道156号 ・国道158号 ・主要地方道高山清見線
まちづくりの方向性	・松本高山Big Bridge（ビッグブリッジ）構想や山岳観光プロモーションの強化、地域資源の更なる磨き上げなどにより、飛騨山脈の山岳資源と自然を有するエリアとしてのまちづくりをすすめます。	・自然豊かな街道景観の保全と活用によるエリアの周遊の促進をはじめ自然や農業を体験できる施設の活用など、都市部や企業等との連携などにより、街道景観と都市部とのアクセスを有するエリアとしてのまちづくりをすすめます。	・日本遺産や伝統工芸品、名勝や田園・農村風景の活用などの体験型の周遊の促進などにより、自然と文化資源を活かしたエリアとしてのまちづくりをすすめます。
既存の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・松本高山Big Bridge（ビッグブリッジ）構想の推進 ・飛騨山脈ジオパーク構想の推進 ・奥飛騨温泉郷活性化基本構想の推進 ・グリーンツーリズム等の体験型の観光 	<ul style="list-style-type: none"> ・自然や農業を体験できる施設などを活用した観光・交流の振興 ・四季折々の美しい街道景観の保全と活用 ・道の駅の販売促進及び、地域食材の提供 	<ul style="list-style-type: none"> ・日本遺産を活用した周遊型の観光 ・伝統工芸品の活用と保存継承 ・地域を周遊するe-バイクツアーの促進 ・一之宮・久々野地域のヘルスツーリズム構築に向けた調査研究 ・アルコピアスキー場廃止後の地域振興策の検討

主なエリアと 考え方	高地の特性と長野県方面からのアクセスを有するエリア	高規格道路沿線（延伸）の立地を有するエリア	
	国道361号、主要地方道久々野朝日線を活かしたまちづくり	中部縦貫自動車道、東海北陸自動車道を活かしたまちづくり	
			
主な地域	・久々野地域、朝日地域、高根地域 (関連周辺自治体：下呂市、木曾町)	・高山地域、丹生川地域、清見地域、荘川地域、上宝・奥飛騨温泉郷地域 (関連周辺自治体：白川村、郡上市、松本市)	
エリアの特徴	主な 地域資源	<ul style="list-style-type: none"> 【道路資源】 <ul style="list-style-type: none"> ・美女街道、江戸街道 【自然資源】 <ul style="list-style-type: none"> ・飛騨御嶽高原高地トレーニングエリア、秋神グラウンド ・御嶽山、乗鞍岳、野麦峠、秋神川、釣り ・石仏、枝垂れ桜、氷点下の森 【産業資源】 <ul style="list-style-type: none"> ・塩沢温泉、秋神温泉、くすみ温泉、キャンプ場 ・鈴蘭高原カントリークラブ、ひだ山リゾートアルコピア ・高冷地野菜、果樹、蒸留所、ワイナリー、観光農園 ・木工・クラフト ・道の駅ひだ朝日村、道の駅飛騨たかね工房 	<ul style="list-style-type: none"> 【道路資源】 <ul style="list-style-type: none"> ・高規格道路IC、道の駅、バスターミナル、安房トンネル、飛騨美濃せせらぎ街道 【自然資源】 <ul style="list-style-type: none"> ・中部山岳国立公園、槍ヶ岳、乗鞍岳、穂高連峰、白山など、ロープウェイ、登山道、乗鞍スカイライン、五色ヶ原の森 【産業資源】 <ul style="list-style-type: none"> ・奥飛騨温泉郷（5つの温泉）、宿讎の湯、恵比須の湯、桜香の湯 ・飛騨大鍾乳洞、スキー場、ロングトレイル、キャンプ場、別荘地、清見造成地
	主な 都市連携軸	<ul style="list-style-type: none"> ・国道361号 ・主要地方道久々野朝日線 ・県道御岳山朝日線 	<ul style="list-style-type: none"> ・中部縦貫自動車道 ・東海北陸自動車道
まちづくりの方向性	・高地を活かした地元農産物やスポーツ交流など道路沿線の特徴を活かした一体的な取り組みの促進などにより、高地の特性と長野県方面からのアクセスを有するエリアとしてのまちづくりをすすめます。	・高規格道路の延伸を見据え、地域資源を活かした沿線の地域活性化などの取り組みにより、高規格道路沿線の多様な立地を有するエリアとしてのまちづくりをすすめます。	
既存の主な取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ・高地トレーニングエリアにおける利用促進 ・地域活性化に向けた廃校施設の活用 ・スポーツ合宿誘致に向けた地元活動の促進 ・クラフト361など沿線の特徴を活かした民間活動 ・アルコピアスキー場廃止後の地域振興策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> ・企業立地の推進 ・都市計画区域の設定 ・中部縦貫自動車道の整備促進、中間ICの整備促進 ・東海北陸自動車道全線4車線化の促進 ・奥飛騨温泉郷活性化基本構想の推進 ・四季折々の美しい街道景観の保全と活用 ・農業・畜産の担い手への農地等の集積・集団化・大規模化 ・自然や農業を体験できる施設などを活用した観光・交流の振興 ・就農者の確保や後継者の育成 	

着実な計画の推進

別紙4

施策							
No.	分野	課題	施策分野	施策の方向性	重No.	施策	
1	市民協働・情報発信・多様性	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動における担い手不足により、活動団体の存続や事業継続が難しくなっています。 ・多様化、複雑化する市民や地域の課題に対し、多様な主体が協働して解決に取り組む必要があります。 ・地域活動での若者の活躍のための支援が求められています。 	1 協働のまちづくり	1 地域活動における担い手の確保	6	地域の負担軽減や、多様な主体との協働を促進し、町内会やまちづくり協議会などの地域コミュニティの維持・活性化に向けた取り組みをすすめます。	
				2 市民協働による多様な課題の解決	6	住民、町内会、市民活動団体、学校、事業者など、地域づくりの様々な担い手が協働し、地域課題に取り組む環境整備をすすめます。	
				3 多様な主体による協働のまちづくりの深化		町内会やまちづくり協議会の位置付けを明確化し、多様な主体との協働による自主的なまちづくり活動を活発的に取り組む環境整備をすすめます。	
		<ul style="list-style-type: none"> ・市民のニーズに合った、市民が必要とする情報が迅速かつ確実に伝わる広報活動が求められています。 ・市民の幅広い意見等を的確に把握し、市政へ反映する必要があります。 	2 広報公聴	1 伝わる広報活動の展開		戦略的な情報発信により、伝わる広報の実現を図ります。	
				2 市民の声を市政に反映する公聴の展開		「誰でも、気軽に、簡単に」意見ができる環境の充実を図ることにより、市民の声を政策に反映します。	
		<ul style="list-style-type: none"> ・性別等にかかわらず、市民が等しくサービスを楽しむことができる仕組みの構築が求められています。 ・異なる文化や慣習の方々でも安心して暮らせる環境が求められています。 ・それぞれの文化や考え方を尊重し、相互理解を深める必要があります。 	3 多文化共生・人権	1 自分らしく生きられる、多様性の尊重	10	多様な生き方や働き方に対する市民の意識醸成などにより、誰もが自分らしく生きられる社会の実現を図ります。	
				2 異なる文化や慣習を認め合い、共に生きる社会の構築	10	在住外国人への暮らしに必要な様々なサポートや外国人材受入事業者への支援などにより、異なる文化を持つ人々が互いに安心して暮らせる環境づくりに取り組みます。	
						10	外国語講座や異文化交流イベントなどの開催により、多様な文化や異なった価値観を尊重する市民意識の醸成を図るとともに、相互理解を深めます。

着実な計画の推進

別紙4

施策							
No.	分野	課題	施策分野	施策の方向性	重No.	施策	
2	計画推進	<ul style="list-style-type: none"> 市民のまちづくりへの思いが市政や地域に反映しやすい社会の構築が求められています。 急激なグローバル化や価値観の多様化、経済状況の変化などに柔軟に対応できるしなやかな市政運営、計画の推進が求められています。 限られた人的、財政的資源を有効に活かすために様々な団体などと連携する必要があります。 	1 総合計画	1 新たな体制によるまちづくり		市民のまちづくりに対する思いを実現する仕組みの構築により、新たなまちづくりの構築を図ります。	
				2 計画の進捗管理、実効性の確保		PDCAサイクルに基づく計画の進捗の管理、社会の変化と事業の進捗に応じた実施計画のローリングをすすめるとともに、各種計画と連動した様々な施策を推進することにより、総合計画の実効性を確保します。	
				3 効果的な連携		自治体、事業者、団体などとの連携により、効果的で効率的な事業の推進を図ります。	
		<ul style="list-style-type: none"> 多様化・高度化する行政課題への対応や社会情勢の変化への対応、財政状況などを踏まえた、組織体制の構築が求められています。 持続的で安定した行政運営を行うため、職員が健康で働きやすい職場環境の整備が求められています。 人材確保が厳しい中、専門性の高い職員の育成や政策形成能力の向上、市民等との協働など行政課題や市民ニーズに対応できる職員の人材育成が求められています。 デジタル化の恩恵が広く市民に行きわたり、誰一人取り残されないデジタル社会の実現が求められています。 持続可能な行政運営に向け、最適な業務体制の構築が求められています。 	2 組織・人事 ・行政経営 ・DX推進	1 社会情勢等に対応した効率的・効果的な組織体制の構築			行政課題に対応した機能的な組織編成や多様な人材の活用などにより、効率的・効果的な組織体制の構築を図ります。
							健康で働きやすい職場環境の整備などにより、職員の活力や生産性の向上、組織の活性化を図ります。
							多様化・高度化する行政課題に対応するため高い専門性や政策形成能力を備えた職員の育成・確保を図ります。
							住民異動手続きや各種証明書発行のスマート化などにより、市民サービスの向上及び業務の効率化を図ります。
							出資等の基本的な考え方を踏まえた出資団体への出資等の見直しをすすめます。
					2 新たな官民連携による効果的な施設の整備		民間事業者の創意工夫による新技術や独自ノウハウを活用した公共施設の整備をすすめます。
					3 デジタル技術の活用による市民サービスの向上		デジタル化などを通じた行政全般にわたる業務最適化や市民の利便性向上を図ります。
	デジタル技術やデータを有効活用して課題解決や新たな価値の創造につなげていくことができる人材の育成・確保をすすめます。						

施策						
No.	分野	課題	施策分野	施策の方向性	重No.	施策
3	財政運営	・今後の人口減少などにより、大幅な収入増加が見込めないなか、人件費や扶助費といった義務的経費の増加や、社会生活を支えるインフラの整備や維持に多額の経費を要することが見込まれる状況において、引き続き健全な財政運営を図る必要があります。	1 財政 ・財産管理 ・税制	1 持続可能な財政運営		歳入の積極的な確保、事務事業見直しなどによる歳出の削減、限られた財源の重点的かつ効果的な配分により、財政の健全性を維持します。
						財政の透明性の確保、計画的な地方債の借入や基金の活用、長期の財政収支の見通しなどにより、持続可能な財政運営を行います。
				2 公有財産の有効活用		庁舎機能の複合化・多機能化をすすめます。
						不要な財産の処分をすすめます。
				3 適正な公契約に関する施策の推進		市内事業者の積極的な活用を図ります。
4 公平な財源確保の推進		市税収入の安定的な確保のため、公平公正な課税を行い、効率的な収納業務を行います。				

第九次総合計画体系

基本計画

基本理念

「人を育み 未来につなぐ」

美しい自然や景観、伝統文化など、先人から受け継がれた飛騨高山の有形無形の財産を守り、育て、次世代につなげていくのは「人」であるため、「人」を育み、未来につながる飛騨高山を目指す

都市像

暮らす人、訪れる人が「しあわせ」を実感するまち 飛騨高山

重点戦略

先人から受け継いだ有形無形の財産を守り、育て、そして未来につなぐための「人」づくり

分野別計画（政策分野の目指す姿）

■ **福祉・医療・健康**
障がいや病気の有無、年齢などに関わらず、生き生きとした暮らしの実現

■ **子ども・教育・交流**
飛騨高山で生まれ、育ち、学び、生活することに、喜びが持てる暮らしの実現

■ **都市基盤・防災・景観**
生活の基盤である、住居、インフラ、災害への備えなどが整った、安全で安心した暮らしの実現

■ **森林・環境・エネルギー**
飛騨高山の豊富な森林や自然資源を守り、育て、活用した、快適で潤いに満ちた暮らしの実現

■ **産業・労働・プロモーション**
飛騨高山の風土や有形無形の財産を活かした、活力と働きがいのある暮らしの実現

地域間連携（エリア）のまちづくり

■ **国内有数の山岳資源や温泉資源を有するエリア**
【飛騨山脈の山岳資源や自然を活かしたまちづくり】

■ **街道景観と都市部とのアクセスを有するエリア**
【自然豊かな街道景観と都市部とのアクセスを活かしたまちづくり】

■ **南北の連携軸を有するエリア**
【国道 41 号、JR 高山本線沿線の自然と文化資源を活かしたまちづくり】

■ **高地の特性と長野県方面からのアクセスを有するエリア**
【国道 361 号、主要地方道久々野朝日線を活かしたまちづくり】

■ **高規格道路沿線（延伸）の立地を有するエリア**
【中部縦貫自動車道、東海北陸自動車道を活かしたまちづくり】

着実な計画の推進

幸福実感指標の設定

1. 指標の考え方

都市像実現に向けて市民の幸福度や満足度を把握していくため、市民が飛騨高山で暮らしていることについて、暮らしやすさや幸福実感（ウェルビーイング）、市政に対する分野ごとの満足度に関する幸福実感指標を設定する。

この指標については、現状値（令和6（2024）年）、中間目標（令和11（2029）年）、目標（令和16（2034）年）を設定し、市民アンケートにより毎年の数値を把握し、取り組みの方向性に対する検証等を行い、定期的な施策の評価と、毎年度実施する事業評価などに活用し、より効果的な計画の推進を図る。

なお、定量的な指標や客観的な指標については、実施計画における事業への位置付けを検討し、基本計画に位置付ける幸福実感指標の推移と合わせて、取り組みの成果を計り、事業評価を行うものとする。

2. 指標の設定

各項目ごとに指標を設定する。

(1) 重点戦略

指標名	指標の説明	単位
市民幸福度① (Well-Being 指標) [現状]	『現在あなたはどの程度しあわせですか。「とてもしあわせ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると感じますか』の平均値	点
市民幸福度② (Well-Being 指標) [将来]	『今から5年後、あなたはどの程度しあわせだと思いますか。「とてもしあわせ」を10点、「とても不幸」を0点とすると、何点くらいになると感じますか』の平均値	点
市民満足度 [子ども]	「こどもが健やかに育つ環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [若者]	「若者が活躍できる環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [地域の支え合い]	「地域を支える担い手を確保できる環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [担い手]	「地域産業が受け継がれるための人材確保・後継者育成が進んでいる」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [生きがいや喜び]	「生きがいや喜びをもって、自分らしく生活できる環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [居住意向]	「地域で住みやすい環境が整っている」と感じている市民の割合	%

(2) 分野別計画（政策分野毎に設定）

①福祉・医療・健康

指標名	指標の説明	単位
市民満足度 [地域福祉]	「地域で支え合い、安心して暮らせる環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [障がい者福祉]	「障がい者が必要な支援を受け、自立して暮らせる環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [高齢者福祉]	「高齢者が生きがいを持ち、安心して暮らせる環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [こども]	「こどもが健やかに育つ環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [医療・保険]	「安心して医療を受けられる環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [健康・保健]	「主体的な健康づくりや病気の予防に取り組む環境が整っている」と感じている市民の割合	%

②こども・教育・交流

指標名	指標の説明	単位
市民満足度 [こども]	「こどもが健やかに育つ環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [学校教育]	「学校・家庭・地域が連携した児童生徒の教育環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [歴史文化]	「文化財や伝承芸能が保存、継承され、郷土の歴史文化に誇りを持っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [生涯学習・文化芸術]	「文化芸術や生涯学習などに触れ、学び、成果を活かせる環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [スポーツ]	「スポーツをしたり、楽しんだりできる環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [交流]	「国内外との都市と様々な分野において交流が進んでいる」と感じている市民の割合	%

③都市基盤・防災・景観

指標名	指標の説明	単位
市民満足度 [土地利用・都市計画]	「保全と開発とのバランスのとれた秩序ある土地利用が行われている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [公共交通]	「日常的に利用できる公共交通体系が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [住宅・公園・景観]	「快適な住宅環境や公園、美しい景観が保たれている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [道路・河川]	「安全で快適に移動できる道路環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [上水道・下水道]	「安全でおいしい水が提供され、汚水処理が適切に行われている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [防災・危機管理]	「災害から命・財産を守るための準備や体制が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [消防・救急]	「消防救急体制が整っている」と感じている市民の割合	%

④森林・環境・エネルギー

指標名	指標の説明	単位
市民満足度 [木の活用]	「身の回りに木や森に親しむ環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [生活環境・資源循環]	「ごみ処理や分別収集が適切に行われ、良好な生活環境が保たれている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [自然環境・温暖化対策]	「自然環境の保全や自然エネルギーの活用をはじめ、地球環境を守る取り組みが進んでいる」と感じている市民の割合	%

⑤産業・労働・プロモーション

指標名	指標の説明	単位
市民満足度 [農業・林業・畜産業]	「地元の農産物や木材が広く消費され、農畜産業や林業が活性化している」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [経済]	「市内で生産されたものが市内で販売、消費されるなど、地域内で経済が循環している」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [雇用・労働]	「若者や女性、高齢者、障がい者、外国人など、働く人が望む就労の場が確保されている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [移住定住]	「移住を希望される方を受け入れる環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [観光]	「観光客で市内がにぎわい、観光産業が活性化している」と感じている市民の割合	%

(3) 地域間連携（エリア）のまちづくり

指標名	指標の説明	単位
市民満足度 [地域連携]	「高山地域や各支所地域が地域を超えて連携した（一体となった）取り組みにより地域が活性化している」と感じている市民の割合	%

(4) 着実な計画の推進

指標名	指標の説明	単位
市民満足度 [協働のまちづくり]	「多様な主体（市民、町内会、地域内団体、学校、事業者、行政等）が協働してまちづくりに取り組んでいる」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [広報公聴]	「必要な情報が入手できるとともに、市政へ意見を言える環境が整っている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [多文化共生・人権]	「年齢や性別、障がいの有無、国籍などに関わらず、多様な生き方・暮らし方への理解が深まっている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [行政全般]	「効率的で良質な行政サービスが提供されている」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [DXの活用]	「地域におけるデジタル活用が進んでいる」と感じている市民の割合	%
市民満足度 [財政運営]	「将来を見据えた財政運営に取り組んでいる」と感じている市民の割合	%

人口の将来展望と計画人口

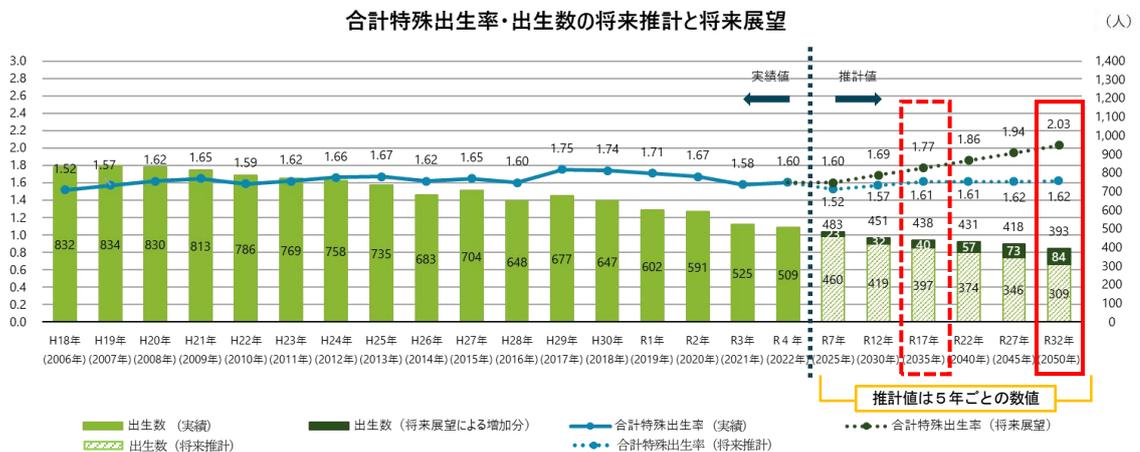
1. 人口の将来展望

人口減少の進展とともに高齢化率が上昇し、年少人口と生産年齢人口の割合が低下するという人口動向を考慮し、持続可能なまちづくりを進めるため、人口減少の緩和に加え、人口構造のあり方という視点を重視し、目指すべき人口の将来展望を設定する。

(1) 自然動態の改善

合計特殊出生率を令和 32（2050）年までに段階的に 2.03 に上昇させることを目指し、今後も続く少子化の抑制を図る。

（人口ビジョン策定に向けた調査（令和 5 年度少子化に関する市民アンケート調査）において、最終的に持ちたいこどもの数の平均値 2.03 人）

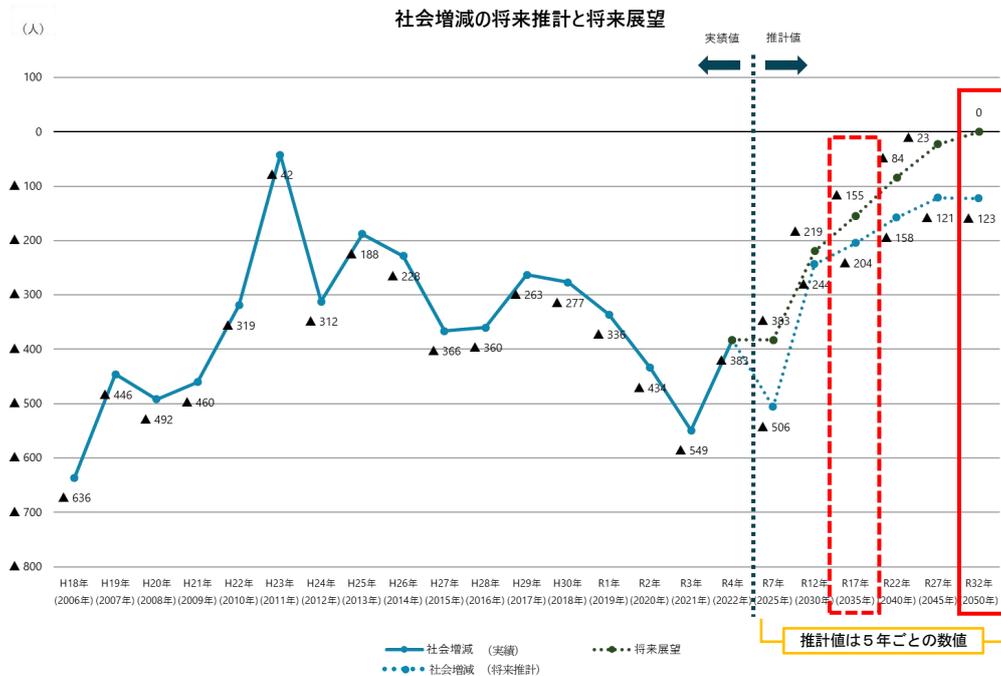


(2) 社会動態の改善

将来推計では、総人口に占める生産年齢人口の割合が、令和 22（2040）年以降、半数以下となる見込みである。（令和 2（2022）年 54.0%→令和 22（2040）年 48.4%）

持続可能なまちとして経済活動や地域活動をすすめていくためには、支える側と支えられる側とのバランスが整っていることが重要であり、生産年齢人口における社会増減（転入数－転出数）を段階的に改善していく必要がある。

社会動態は一時的な取り組みで改善されるものではなく、継続した取り組みの成果として改善されるものであるため、令和 32（2050）年を目標に転出超過の解消を目指し、人口減少の抑制を図る。

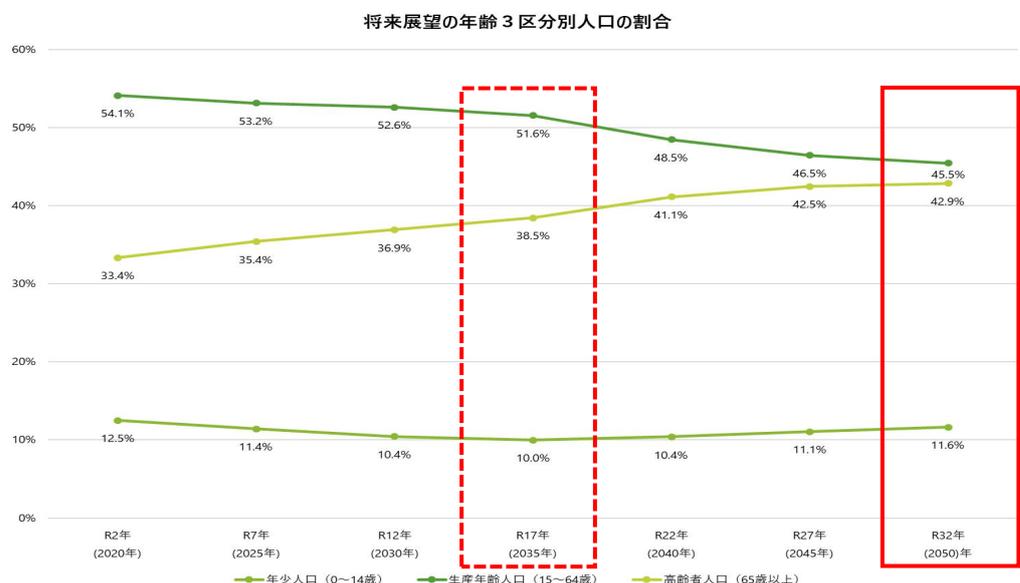


(3) 目指すべき人口の将来展望の設定

上記が実現した場合、令和32（2050）年の総人口は、将来推計に対して3,851人増加し、57,713人になる見込みである。また、総人口に占める年齢3区分別人口の割合は、年少人口は9.5%から11.6%に、生産年齢人口は44.7%から45.5%に、高齢者人口は45.8%から42.9%となる。

以上により、目指すべき人口の将来展望（令和32（2050）年）を58,000人とする。

	R2年 (2020年)	R7年 (2025年)	R12年 (2030年)	R17年 (2035年)	R22年 (2040年)	R27年 (2045年)	R32年 (2050年)
年少人口 (0～14歳)	10,554	8,943	7,672	6,880	6,734	6,745	6,721
生産年齢人口 (15～64歳)	45,703	41,676	38,698	35,545	31,376	28,348	26,237
高齢者人口 (65歳以上)	28,162	27,760	27,149	26,507	26,630	25,915	24,755
総数	84,419	78,379	73,519	68,932	64,740	61,008	57,713

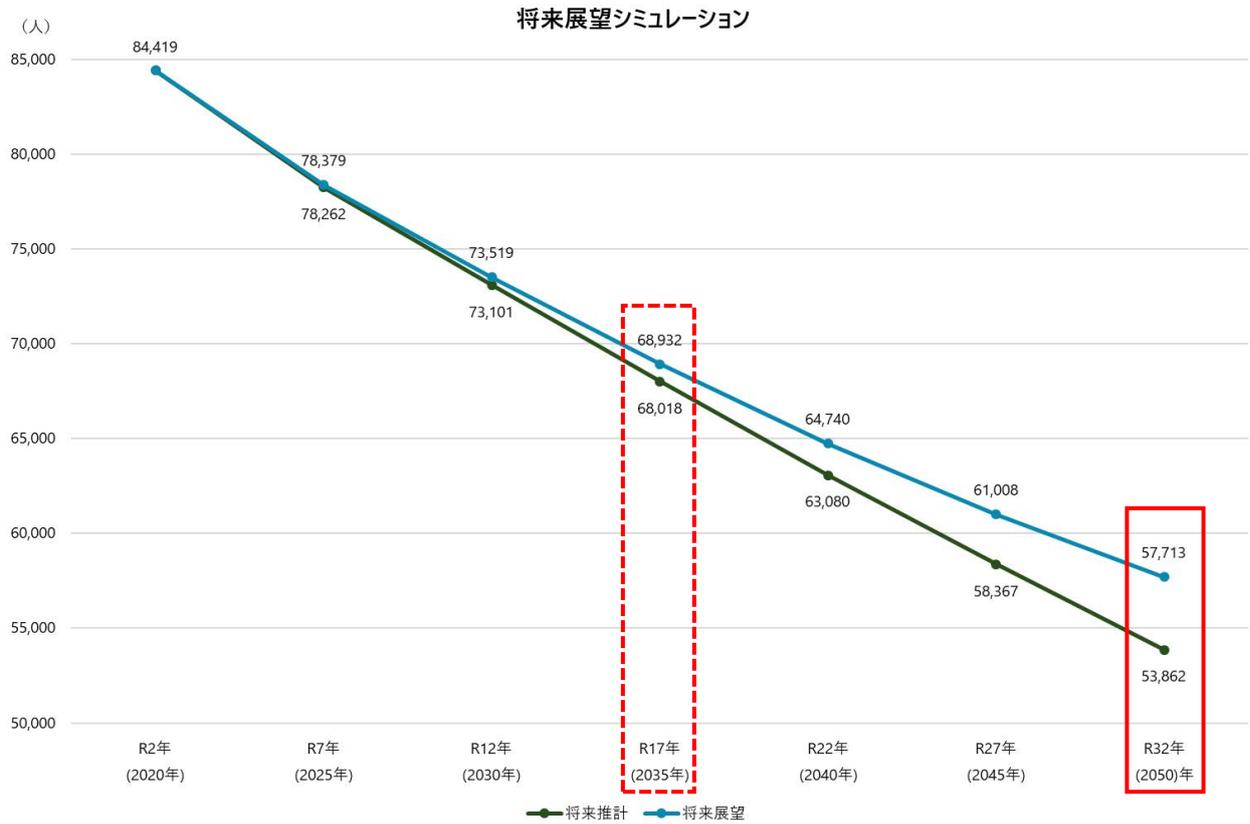


2. 計画人口

人口の将来展望を踏まえ、令和 17（2035）年の計画人口を 69,000 人とする。

<参考>

○将来推計・将来展望の比較



人口ビジョン（将来展望）の比較

区分		第八次総合計画	第九次総合計画
基準推計		国立社会保障・人口問題研究所推計 (基準人口：2015年国勢調査)	国立社会保障・人口問題研究所推計 (基準人口：2020年国勢調査)
将来展望の 設定	目標①	合計特殊出生率を 2045年までに2.13 (持ちたいこどもの数2.13を基に 設定)	合計特殊出生率を 2050年までに2.03 (持ちたいこどもの数2.03を基に 設定)
	目標②	生産年齢人口の社会増減を段階的に 300人改善(15～64歳の2045年の社 会増減が将来推計に対して年間300 人増加)	生産年齢人口の社会増減を段階的に 改善し、2050年を目標に転出超過の 解消を図る。
2045年人口		71,124人(将来推計より8,258人増) 年少人口 13.4% 生産年齢人口 49.1% 高齢者人口 37.5%	61,008人(将来推計より2,641人増) 年少人口 11.1% 生産年齢人口 46.5% 高齢者人口 42.5%

将来推計と将来展望の比較

人口		2020年	2025年	2030年	2035年	2040年	2045年	2050年
将来推計	八次総	85,332	81,090	76,672	72,107	67,419	62,866	-
	九次総	84,419	78,262	73,101	68,018	63,080	58,367	53,862
将来展望	八次総	85,519	81,934	78,629	75,665	73,054	71,124	-
	九次総	84,419	78,379	73,519	68,932	64,740	61,008	57,713